

ナンバリング	授業科目名 (科目の英文名)	区分
M314M107	組織学 (Histology)	専門科目 コース共通専門分野

必修選択	単位	対象年次	学期	曜・限	担当教員
必修	1	1	後期	月曜・4限	濱田文彦・千葉政一・三浦真弘・二宮 遼・久保修一 内線：5620 E-mail：hamadafl@oita-u.ac.jp

【授業の概要・到達目標】

ミクロ的視点（組織・細胞レベル）から、血液・造血器・リンパ系、神経系、運動器系、循環器（心血管）系、呼吸器系、消化器系、泌尿器系、生殖器系、内分泌系、視覚器系、平衡聴覚器系の正常構造と機能を理解する。

具体的な到達目標	ディプロマポリシーとの対応					
	1	2	3	4	5	6
1. 人体を構成する4種の組織（上皮・結合・筋・神経）の構造を説明できる。	○		○			
2. 各器官系の正常構造と機能を説明できる。	○		○			
3.						
4.						

【授業の内容】

1	イントロダクション・上皮組織・結合組織
2	血球・脈管・筋組織
3	骨・軟骨組織・神経組織
4	呼吸器・リンパ組織
5	中枢神経・視覚器
6	消化器
7	平衡聴覚器・生殖器
8	内分泌・泌尿器
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	

【アクティブラーニングの内容・その他の工夫】

A：知識の定着・確認		
B：意見の表現・交換	○	講義中の質問
C：応用志向		
D：知識の活用・創造		

【時間外学修の内容と時間の目安】

準備学修	講義で使用する資料（講義前に配布予定）を中心に予習する（1 h）。
事後学修	講義内容を復習する（1 h）。

【教科書】

ジュンケイラ組織学 第5版（丸善）

【参考書】

人体の正常構造と機能【全10巻縮刷版】改訂第4版（日本医事新報社）、入門組織学 改訂第2版（南江堂）
組織学 改訂20版（南山堂）、Qシリーズ 新組織学 第6版（日本医事新報社）
組織学図譜（アトラス）として、人体組織図譜（ATLAS OF HISTOLOGY）第11版（南江堂）、Sobotta 実習
人体組織学図譜 第5版（医学書院）

【成績評価方法及び評価の割合】

評価方法	割合	目標 1	目標 2	目標 3	目標 4
期末試験	100 %	○	○		

【注意事項】

- ① 組織学の講義において、人体および人体標本の撮影・録画・録音を行わないこと。また、インターネットへの掲載をしないこと。ヒト以外の動物や動物標本についても撮影等を行わないこと。これらの実物だけでなく、スライドなどで示した標本写真等についても、撮影、インターネットへの掲載をしないこと。
- ② 組織学の講義に関する重要な知らせが Deepmail を介して行われることがあるため、メールのチェックを怠らないこと。

【備考】

教員の実務経験の有無	有	
教員の実務経験	濱田・千葉（医師）	
教員以外で指導に関わる実務経験者の有無	無	
教員以外の指導に関わる実務経験者		
実務経験をいかした教育内容	組織学において学ぶ内容の臨床的意義を解説し、学生の学習意欲を高める。	
授業形態	講義	